

2026年2月・3月受入れ

新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室

「ぶらり豊臣秀吉・秀長ゆかりの城めぐり」

佐藤強志
マコト出版

「特別版復元CG作画集 日本の城」

三浦正幸/監
山川出版社

「秀長と郡山のあゆみ」

大和郡山市

「日本城郭協会研究紀要 第2号」

日本城郭協会

「企画展「ひょうご温泉まちめぐり」展覧
会図録」

兵庫県立歴史博物館

「沿革考証 姫路名勝誌 現代語訳」

矢内正夫
神戸新聞総合出版センター

「豊臣秀吉の城」

中井均/編
宮帯出版社

「東山焼と姫路のやきもの」

兵庫陶芸美術館

「姫路城 天守と城下町」

播磨学研究所

「明石の港津」

発掘された明石の歴史展実行委員会

「福崎町の交通変遷」

福崎町立神崎郡歴史民俗資料館
福崎町教育委員会

「東海・北陸のジオサイトを味わう」

森勇一 田口一男
風媒社

「徳川家光 我等は固よりの将軍に候」

ミネルバ書房
野村玄

林田陣屋跡発掘調査見学会資料

姫路市埋蔵文化財センター

今月のおすすめ本紹介！！

「城下町姫路を歩くーものの心の時代ー」

播磨学研究所

播磨学研究所の主催で2015年より始まった姫路城城下町の現地見学会「ものの心紀行」での配布資料を再編集したもの。10種類のルートを紹介し、史跡や関連する人物について簡潔に解説しています。ルートに沿って散策するのはもちろん、本書を通読することで城下町の隠れた歴史に触れることができるでしょう。

「BanCul No.139 2026年春号 播磨の国宝」

(財)姫路市文化振興財団

1991年の創刊から35年にわたり、播磨の文化や歴史を発信し続けてきた地域誌「BanCul (バンカル)」の最終号が、この春刊行されました。これまで、各刊で定められたテーマに沿って、最新の文化情報を発信してきました。最終号は、姫路城をはじめ鶴林寺、一乗寺、浄土寺、朝光寺、太山寺の播磨の国宝に焦点を当てた内容になっており、当室職員も執筆に協力しています。

当室の特別閲覧室では、創刊号から最終号まで全刊を所蔵していますので、どうぞご利用ください。

- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9:00~12:00 13:00~17:00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物をたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2階）

TEL 079 (289) 4877

URL <https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken>